

新発田駅前複合施設 基本設計案

平成 25 年 11 月 4 日

この案は、確定のものではありません。
今後、変更する場合があります。

しばたを“つなぐ”

しばたを“つなぐ”拠点となる情報発信の場をつくります



新発田城



新庁舎



諏訪神社



新発田祭り



敬和学園大学

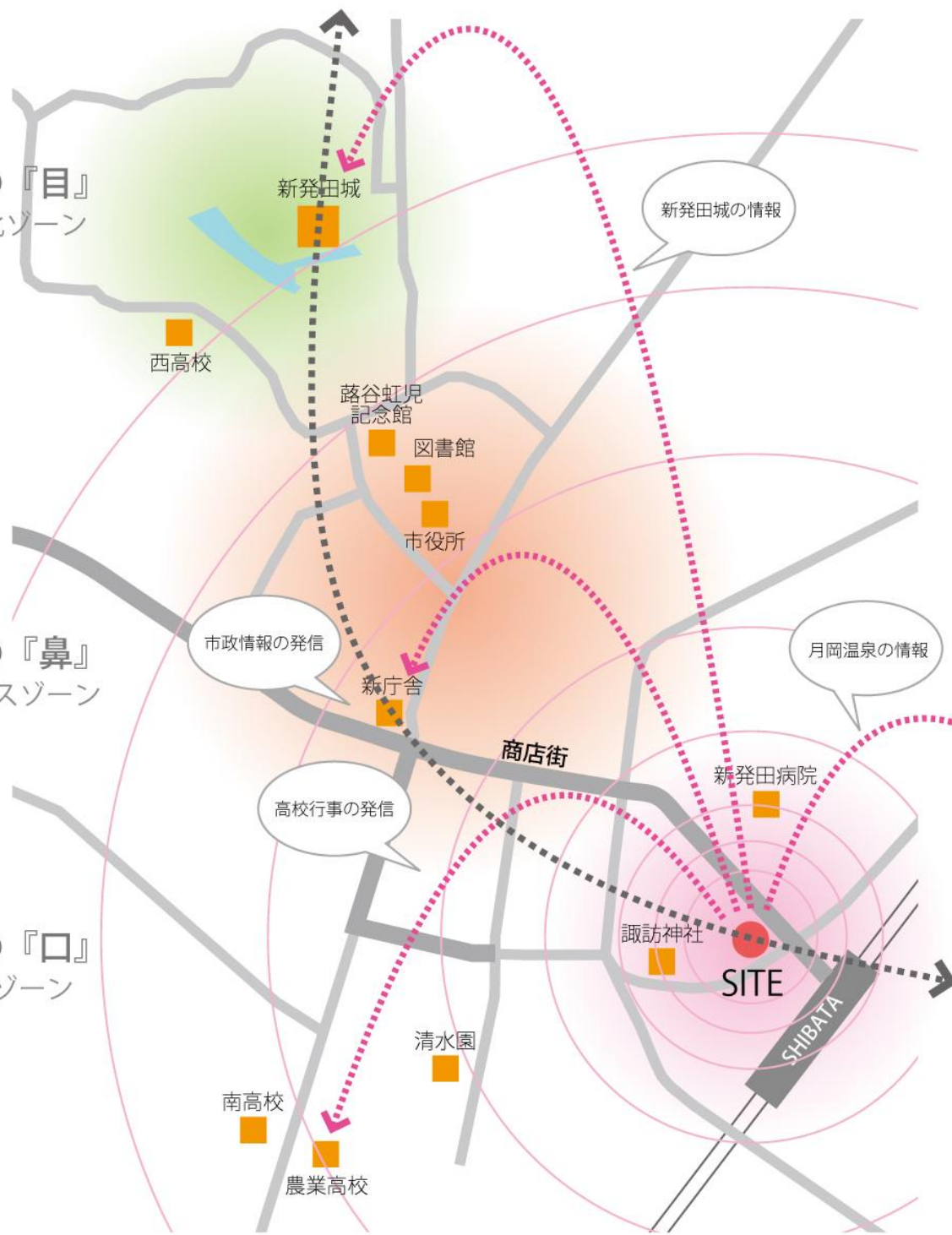


職業能力開発短期大学校

しばたの『目』
歴史・文化ゾーン

しばたの『鼻』
公共サービスゾーン

しばたの『口』
情報発信ゾーン



図書館



新発田病院



寺町



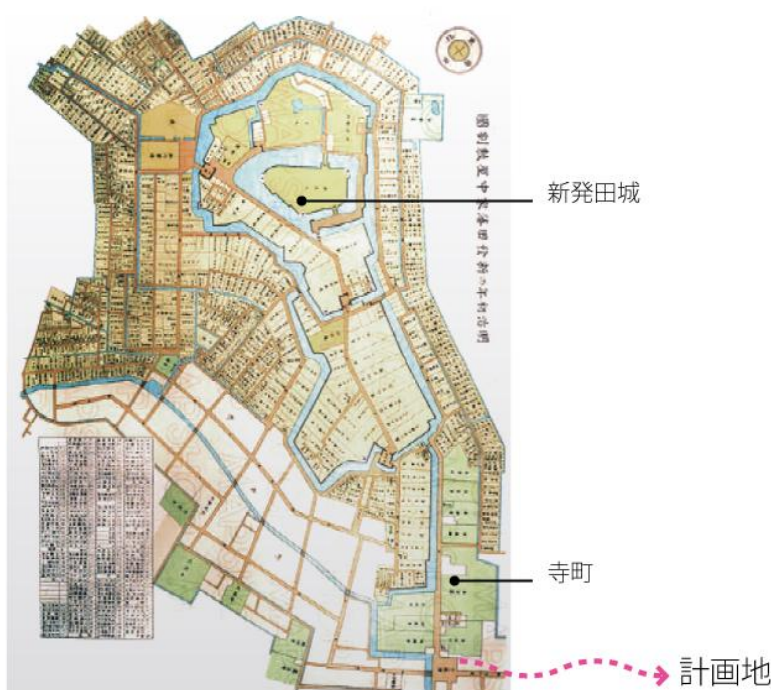
清水園



足軽長屋



月岡温泉

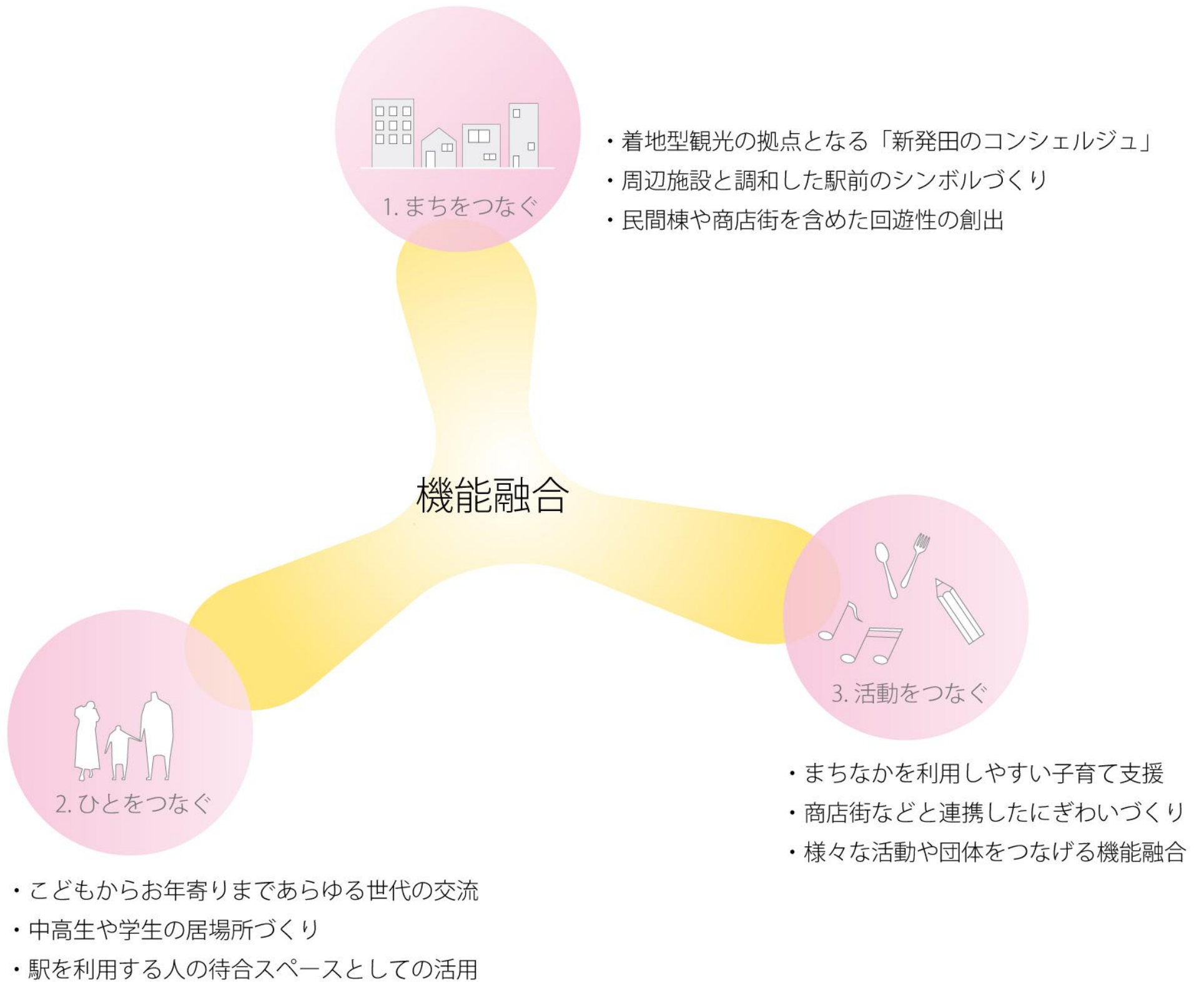


新発田市の古地図

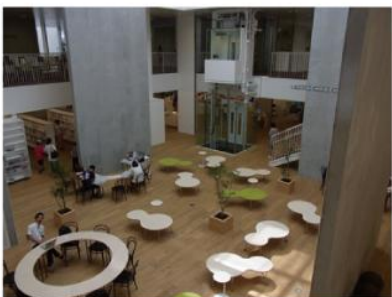
- 新発田の観光資源をつなぐネットワークの拠点
- 新発田の今と昔をつなぐ“地域情報の発信”
- 食育、子育てなど生活に役立つ情報の拠点
- 施設の利用者同士が情報を発信し合う交流の拠点

“つなぐ” = 『機能融合』

様々な機能が融合した複合施設により、まち・ひと・活動をつなぎます



参考事例



塩尻えんぱーく



武雄市図書館



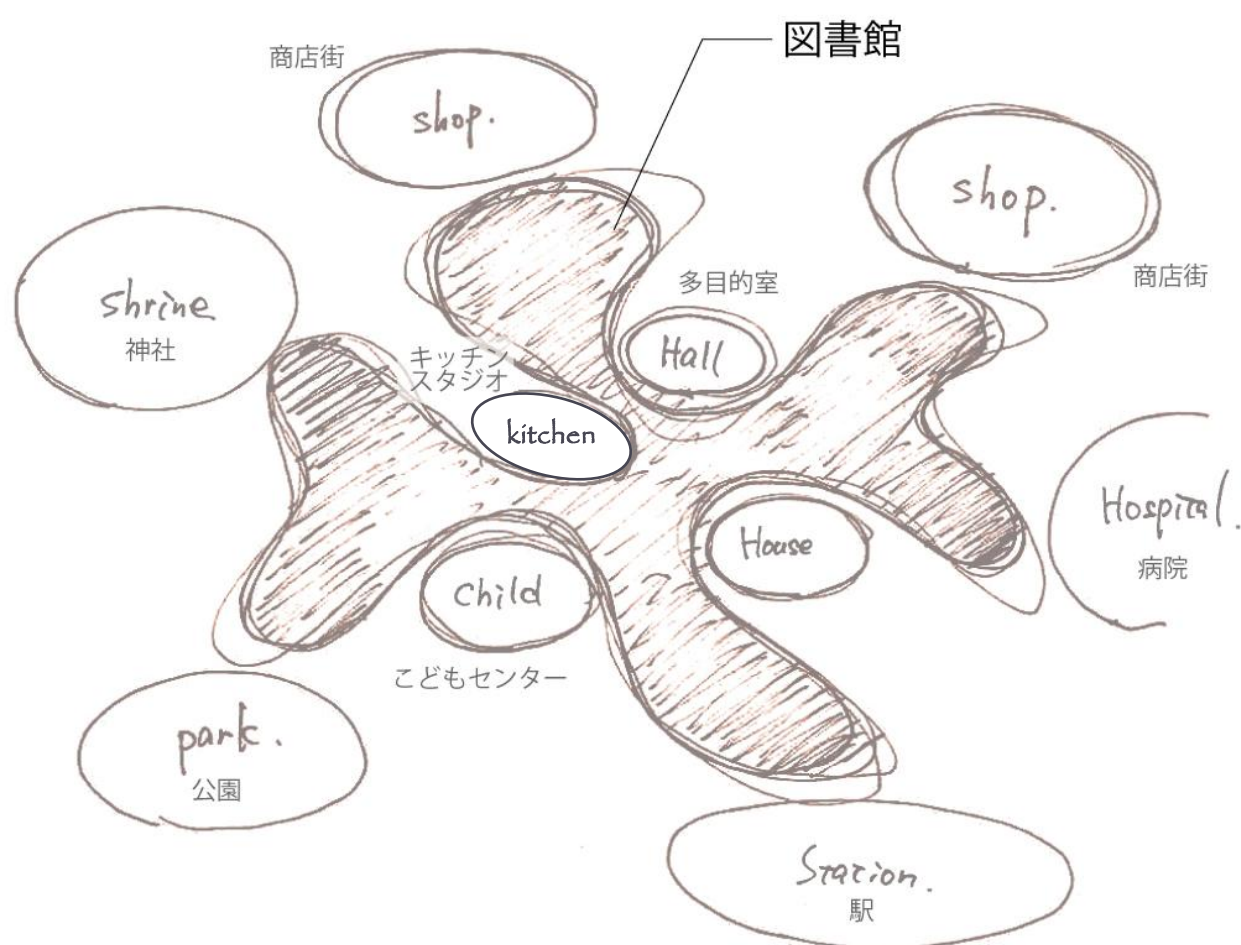
武蔵野プレイス



アオーレ長岡

図書館で “つなぐ”

図書館を”触媒”として「こどもセンター」「キッチンスタジオ」「多目的室」をつなぎます



1. 「知」の集積

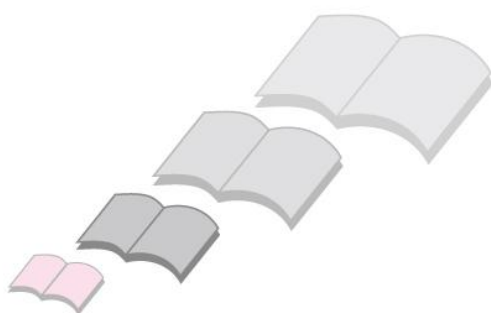


様々な知識・情報が集まり提供する

例えば...

- | | |
|----------|----------|
| こどもセンター | 子育て |
| キッチンスタジオ | 食育 |
| 市政 | ↔ 市政コーナー |
| 新発田城 | 新発田の歴史 |
| 新発田藩 | 郷土資料 |

2. 「知」の継承



知識・情報を保管し、継承する

例えば...

- 食育：新発田の郷土料理を作る
- こども：新発田の歴史を知る
- 観光：新発田の名所を探す
- 商店街：新発田の名物を知る

3. 「知」の交流



知識・情報を介して人の交流を生む

例えば...

- 子育て本：家族の交流
- ティーンズ雑誌：中高生の交流
- ビジネス支援：働くひとの交流
- 読み聞かせ室：親子の交流
- 話題の料理本：腕を磨きたいひとの交流

まちを“つなぐ”

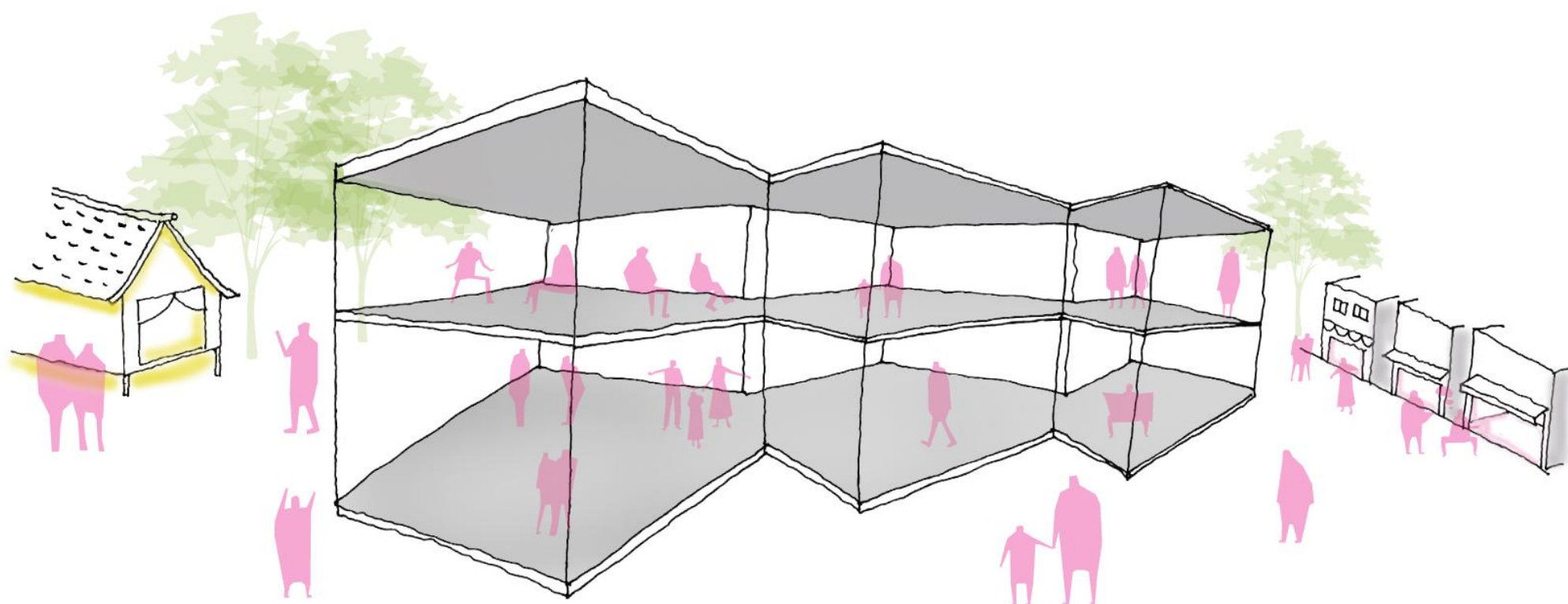
駅周辺施設と連携し、まちと一体となる交流の拠点をつくります



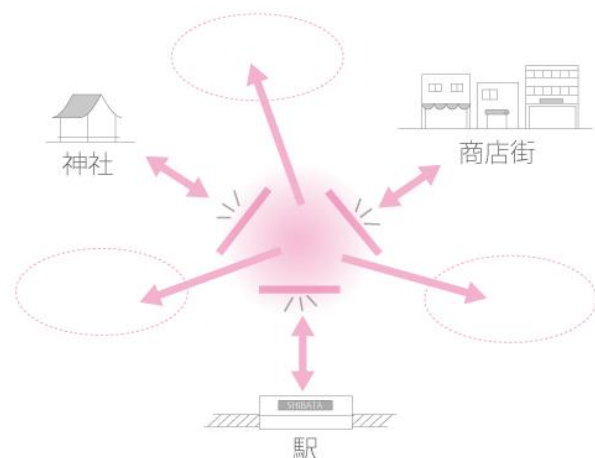
- 駅や商店街に向けて賑わいを発信する” 駅前のシンボル”
- 新発田駅の電車やバスを利用する市民の待合スペース
- 諏訪神社、東公園の環境を取り込み、飯豊連峰などの景観を活かした施設
- 商店街や新発田病院の利用者も気軽に立ち寄れる” 居場所づくり”
- 中高生や学生が通学途中に立ち寄りやすい” 知的交流の拠点”
- 民間棟や商店街と一体化した” にぎわいづくり”
- 諏訪神社や清水園、寺町へとつながる” 歴史のみち”
- 来訪者を迎える” 市の玄関口”

ひとを“つなぐ”

新発田に住む人、新発田を訪れる人、新発田で学ぶ人、、、人をつなぐ交流の拠点をつくります

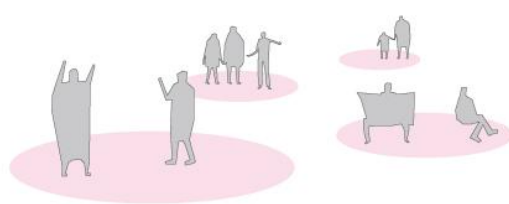


1. しばたの“顔”



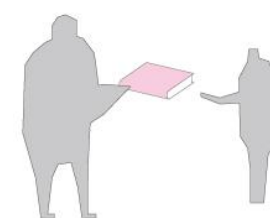
- 新発田のひとの営みを象徴した“顔”
- 来訪者に対するおもてなしの“顔”
- 活動のシンボルとしての施設

2. “居場所”づくり



- こどもの学びの場
- 子育て中の方の交流の場
- 中高生や学生などのサークルの場
- ビジネスマンの知的活動の場

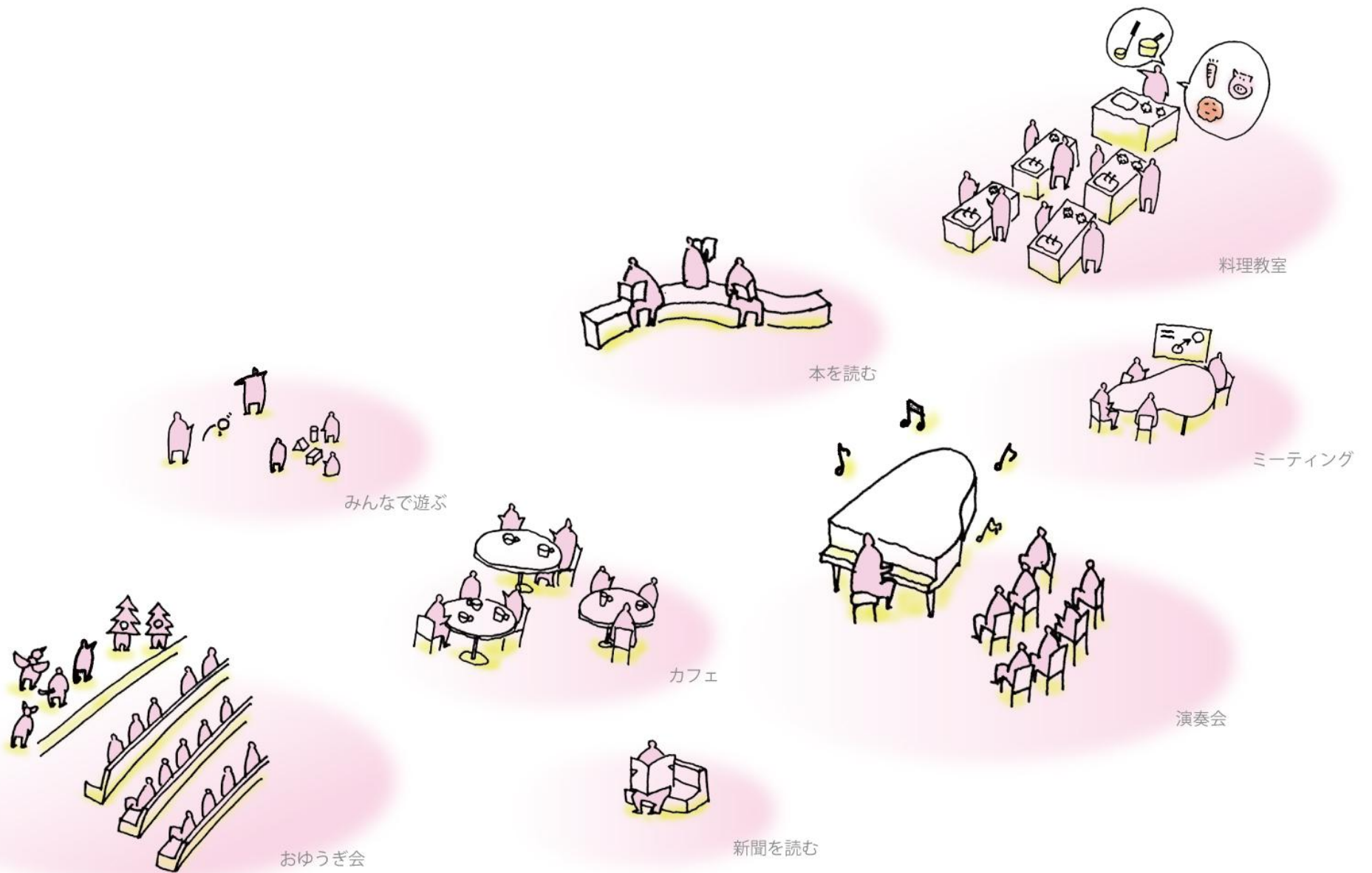
3. 交流の場



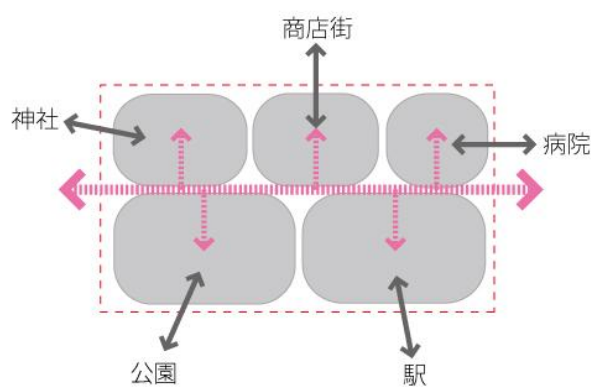
- こどもとお年寄りの歴史を介した交流
- 観光客とボランティアの交流の場
- まちづくり活動を行なう方の活躍の場
- 中高生、学生、ビジネスマンなどの知的交流

活動を“つなぐ”

複合施設の中で行われる様々な活動をつなぎます

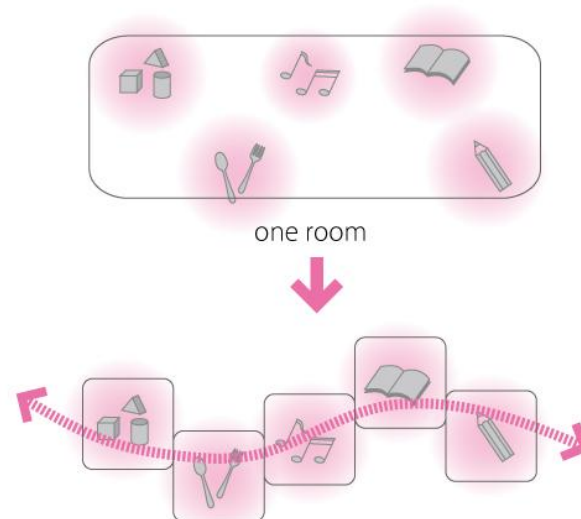


1. 周辺とのつながり



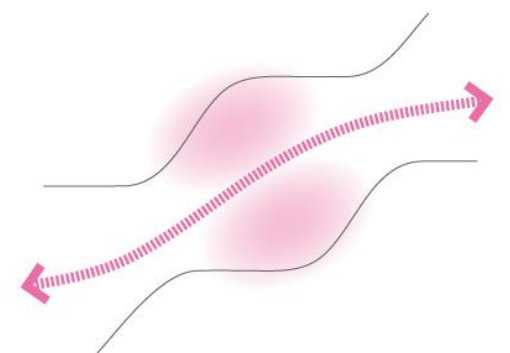
- ・周辺環境、敷地条件にあわせた機能配置
- ・市民の意見を取り入れた機能配置

2. 機能のつながり



- ・図書館を“触媒”としたつながり方
- ・いろいろな活動が展開していく連続性・回遊性

3. 動線をつながり



- ・まちへとつながる「流動性」
- ・人が留まる「滞留性」

1階平面図

駐車場
参考イメージ写真

S=1:400

0 5 10 20m



駐車場は約80台を地上面に設けます。
雨や雪を避けるため、建物の下に配置します。

職員用の出入口と搬出入口を
駐車場の奥に計画します。

諏訪神社との間の道路に面して、
駐車場の出入口を設けます。

商店街に面して駐車場の
出入口を設けます。

駐輪場は分散して配置し、約100台
を商店街側に設けます。

駐輪場側から建物に入りやすいよう、送迎にも
利用できる車寄せとエントランスを設けます。

商店街側からも建物に入ることが
できる階段を設けます。

屋外から直接2階へ行ける
大階段を設けます。

観光案内やイベントなどのポスターやパンフレット
などを展示できるギャラリースペースを設けます。

行政棟と民間棟の間に「エントランス広場」
とメインエントランスを設けます。

駐輪場は分散して配置し、約100台
を諏訪神社側に設けます。

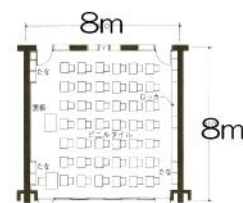
100人程度の発表会などが行える
多目的ホールを計画します。

充実した待合スペースとして、カフェ、くつろぎスペース、
新聞・雑誌コーナーが融合したスペースを計画します。

凡例

- : 図書館機能 (一般)
- : 図書館機能 (児童)
- : こどもセンター機能 (児童)
- : 多目的機能
- : 共用部 (トイレ・廊下など)
- : 事務・管理
- : 利用者用出入口
- : 車両出入口
- : 職員用出入口
- BDS : 図書持ち出し防止装置
- EV : エレベーター
- WC : トイレ

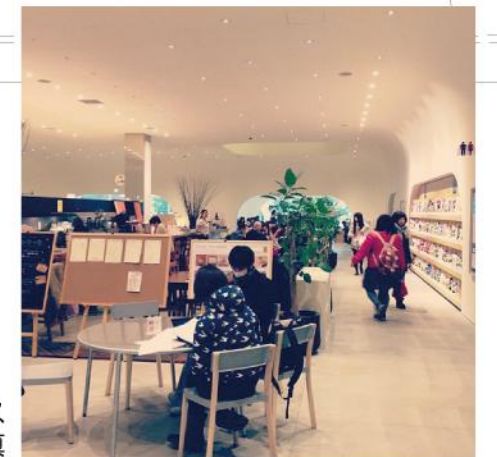
大きさの目安：
標準的な小学校の教室
(8m×8m)



多目的室
参考イメージ写真

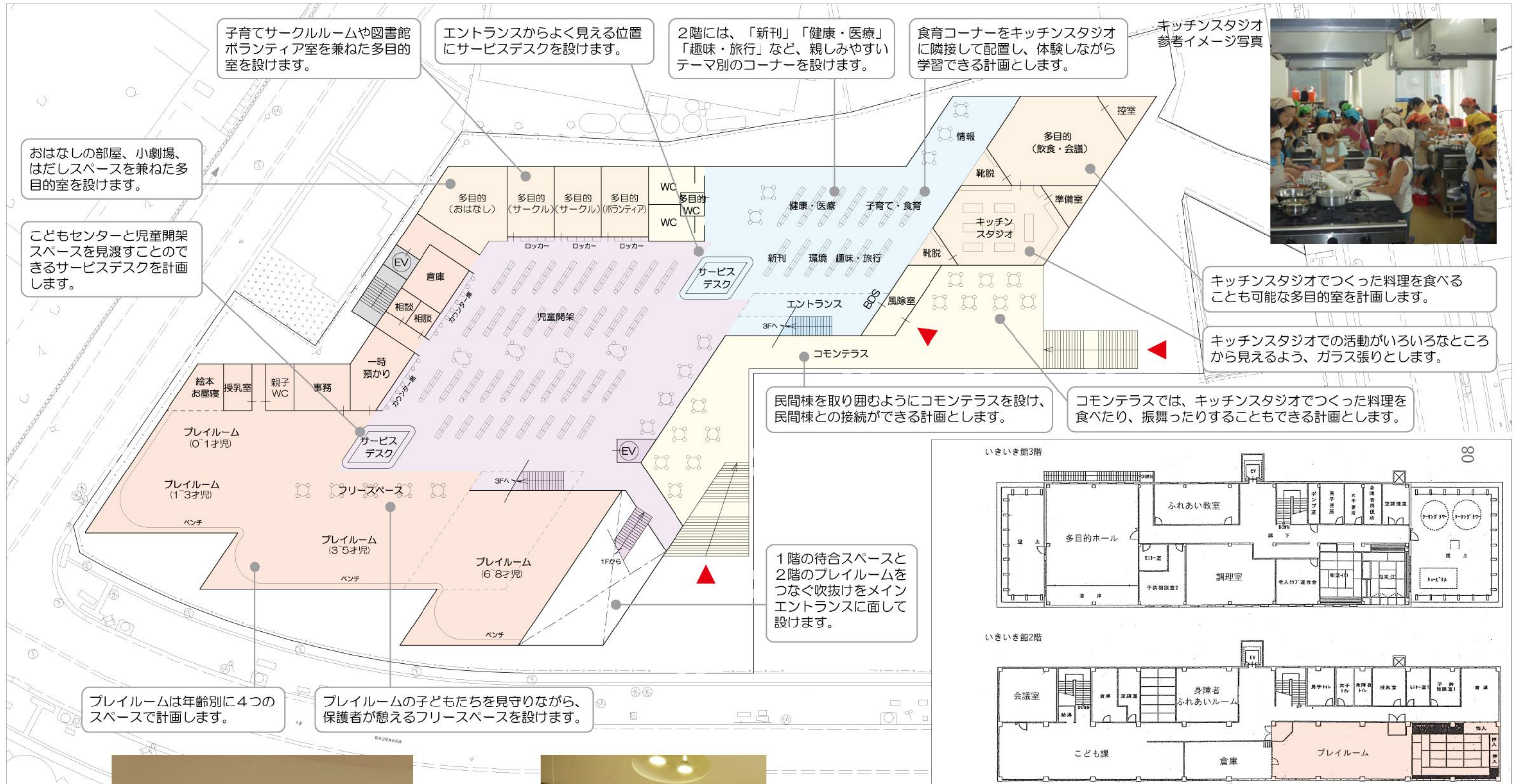
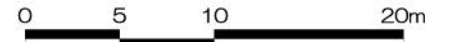


くつろぎスペース
参考イメージ写真



2階平面図

S=1:400



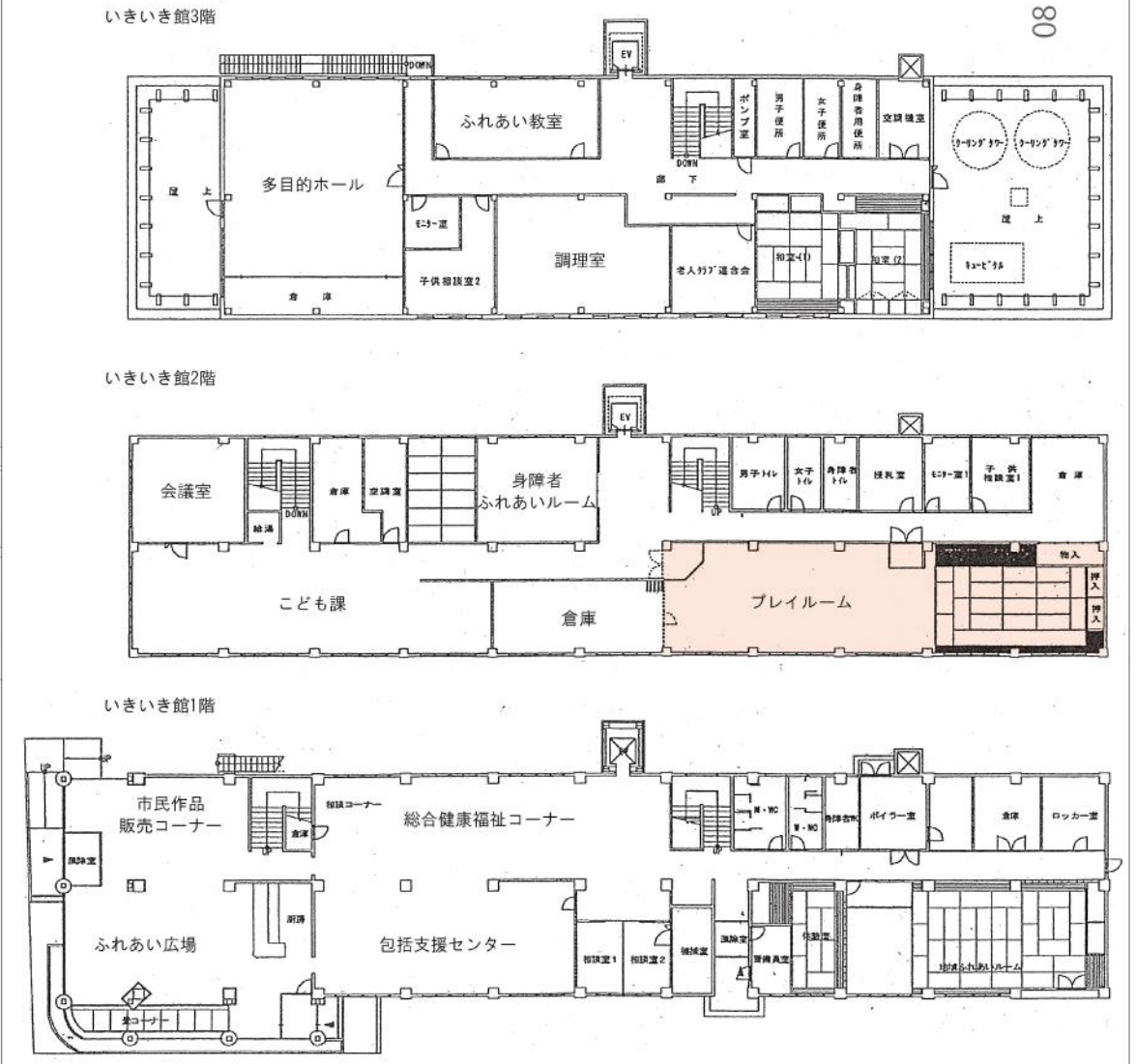
キッチンスタジオでつくった料理を食べることも可能な多目的室を計画します。

キッチンスタジオでの活動がいろいろなところから見えるよう、ガラス張りとしています。

民間棟を取り囲むようにコモンテラスを設け、民間棟との接続ができる計画とします。

コモンテラスでは、キッチンスタジオでつくった料理を食べたり、振舞ったりすることもできる計画とします。

1階の待合スペースと2階のプレイルームをつなぐ吹抜けをメインエントランスに面して設けます。



プレイルームは年齢別に4つのスペースで計画します。

プレイルームの子どもたちを見守りながら、保護者が憩えるフリースペースを設けます。



プレイルーム 参考イメージ写真



児童開架 参考イメージ写真

参考：いいきき館平面図

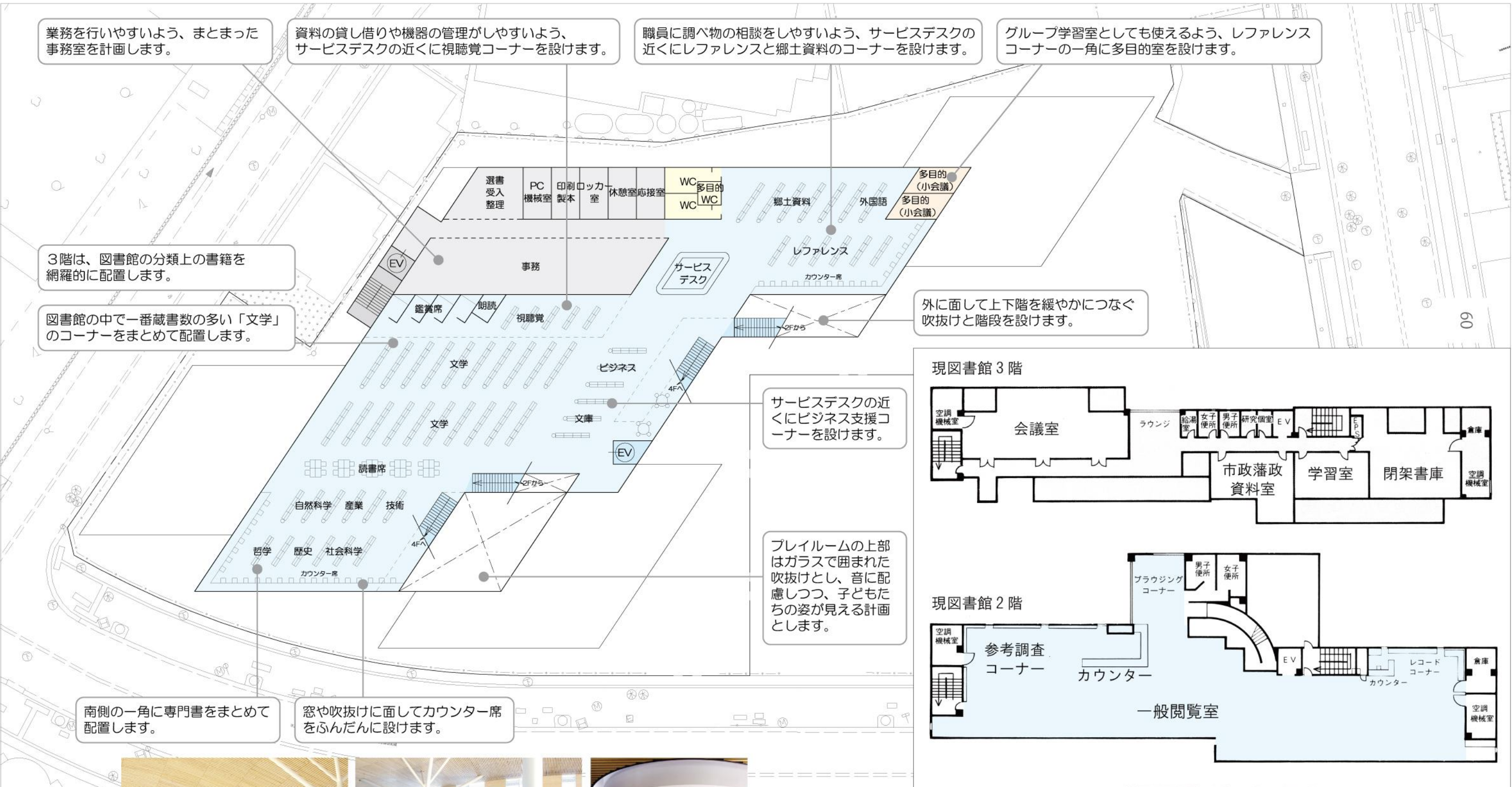
※複合施設と同じ縮尺(1/400)です。

※竣工時の図面を元に作成しており、一部現況と異なる部分があります。

3階平面図

S=1:400

0 5 10 20m



業務を行いやすいよう、まとまった事務室を計画します。

資料の貸し借りや機器の管理がしやすいよう、サービスデスクの近くに視聴覚コーナーを設けます。

職員に調べ物の相談をしやすいよう、サービスデスクの近くにレファレンスと郷土資料のコーナーを設けます。

グループ学習室としても使えるよう、レファレンスコーナーの一角に多目的室を設けます。

3階は、図書館の分類上の書籍を網羅的に配置します。

図書館の中で一番蔵書数の多い「文学」のコーナーをまとめて配置します。

外に面して上下階を緩やかにつなぐ吹抜けと階段を設けます。

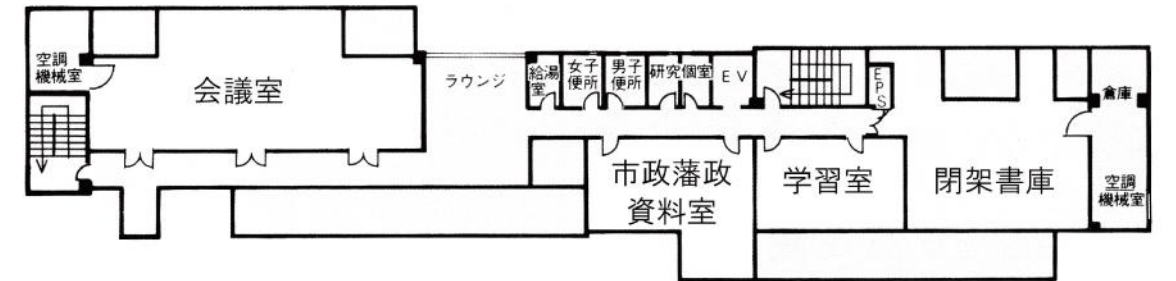
サービスデスクの近くにビジネス支援コーナーを設けます。

プレイルームの上部はガラスで囲まれた吹抜けとし、音に配慮しつつ、子どもたちの姿が見える計画とします。

南側の一角に専門書をまとめて配置します。

窓や吹抜けに面してカウンター席をふんだんに設けます。

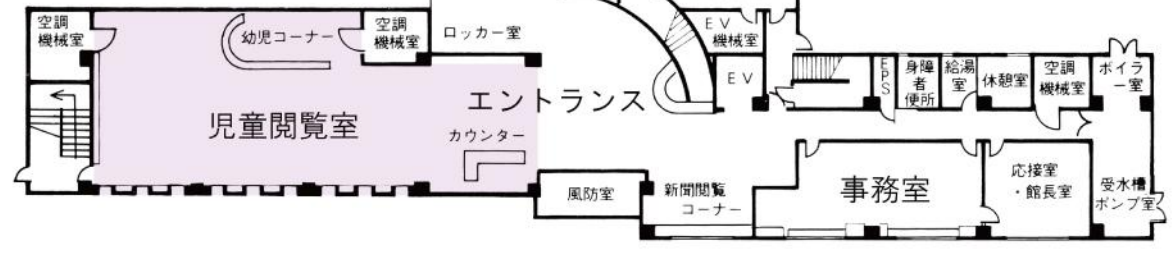
現図書館3階



現図書館2階



現図書館1階



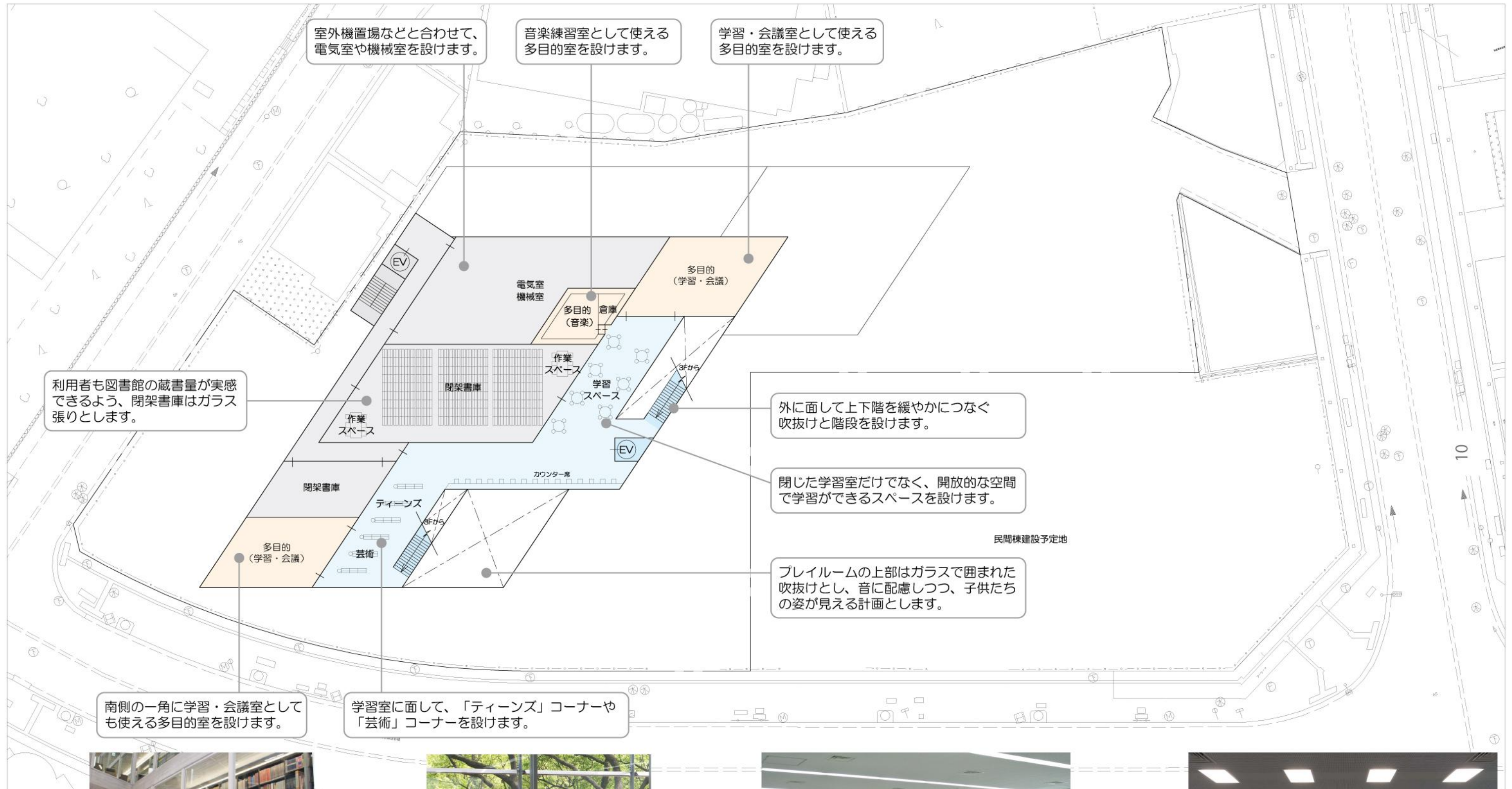
書架配置
参考イメージ写真

参考：現図書館平面図
※複合施設と同じ縮尺(1/400)です。
※竣工時の図面を元に作成しており、一部現況と異なる部分があります。

4階平面図

S=1:400

0 5 10 20m



閉架書庫
参考イメージ写真



カウンター席
参考イメージ写真

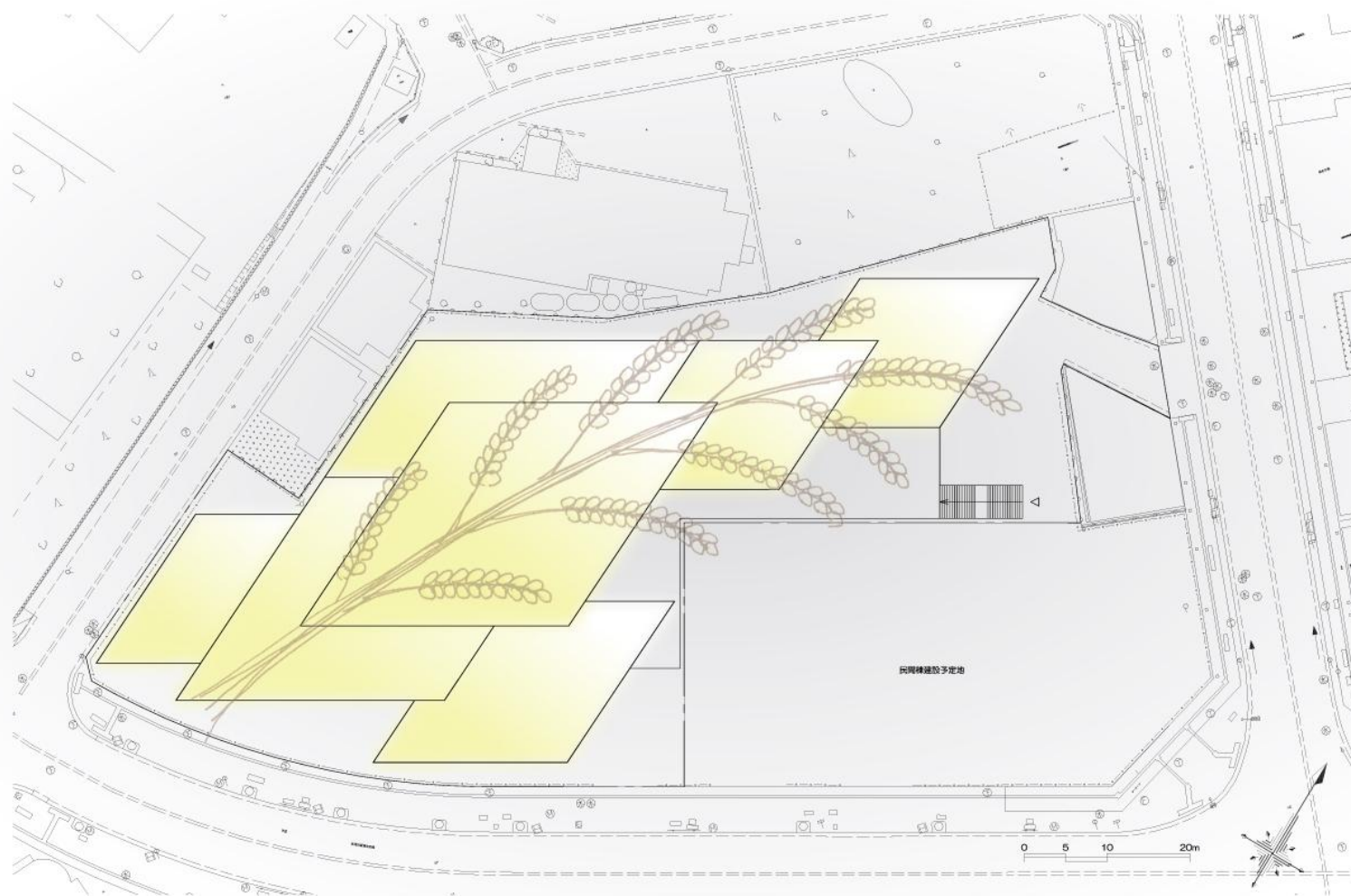


学習スペース
参考イメージ写真



多目的(学習・会議)
参考イメージ写真

つながるかたち = “稲穂”



まちとつながり、ひとを育み、活動を実らせる『しばたの穂』